

[取組説明]

研究基盤EXPO2023

生まれ変わりました！

一般社団法人「研究基盤協議会」

アウトライン

- はじめに
- 研究基盤協議会法人化について
- e-CSTIによる最新の分析結果と教育研究系技術職員の調査結果
- 「研究基盤協議会にモノ申す！」
- 最後に

研究基盤EXPO2023

研究基盤協議会にモノ申す！

若手ネットワーク
技術職員コンソーシアム

※本セッションでの発言は、各登壇者の所属団体としての見解ではありません。

アウトライン

- 各団体概要・活動報告
- 登壇者紹介
- パネルディスカッション
- まとめ
- 最後に

研究基盤協議会

研究基盤協議会若手ネットワークの紹介

研究基盤協議会若手ネットワークとは

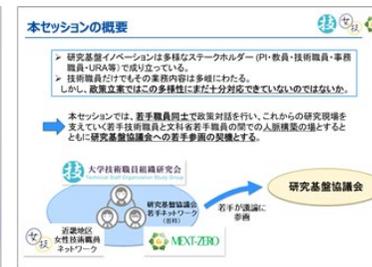
研究基盤協議会プレイベント（令和3年1月29日）にて開催された、「若手技術職員×1年生ゼロ局員での政策対話@研究基盤EXPO2021」にて、大学技術職員組織研究会、近畿地区女性技術職員ネットワーク、文部科学省若手職員にて意見交換を実施。



登壇者17名をコアメンバーとして、研究基盤協議会内に「若手ネットワーク」として立ち上げ

若手ネットワークの目的

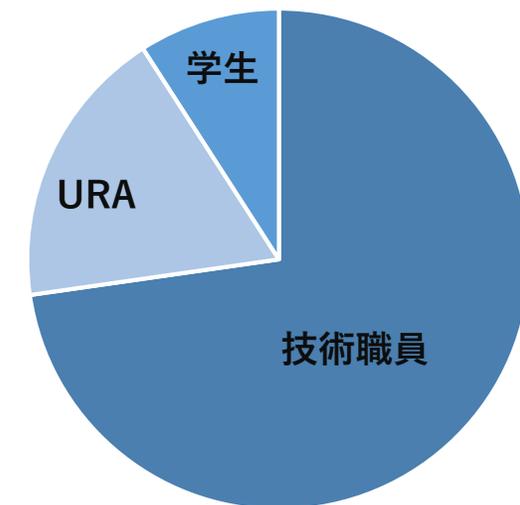
- 研究基盤に関係のあるステークホルダー間での若手の情報共有の場とする
- 若手ならではの視点で、研究基盤を考える



メンバー

- 稲角 直也 (大阪大学理学研究科技術部)
- 植原 邦佳 (大阪大学接合科学研究所)
- 江口 奈緒 (大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター)
- 川谷 健一 (長岡技術科学大学研究戦略本部)
- 木戸拓実 (熊本大学熊本創生推進機構イノベーション推進部門)
- 服部 崇哉 (名古屋工業大学技術部情報解析技術課(情報基盤センター勤務))
- 細見 奈生 (筑波大学医学群 医療科学類)
- 廣瀬 孝三郎 (琉球大学工学部技術部)
- 松本 香 (神戸大学大学院工学研究科技術室)
- 横野 瑞希 (鳥取大学技術部)

令和5年1月時点



(計10名)

活動内容

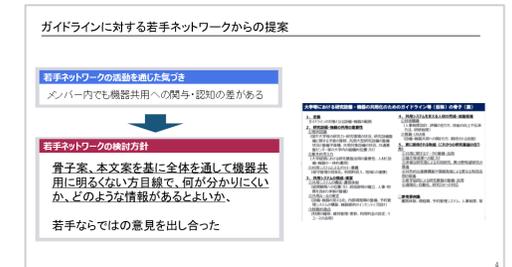
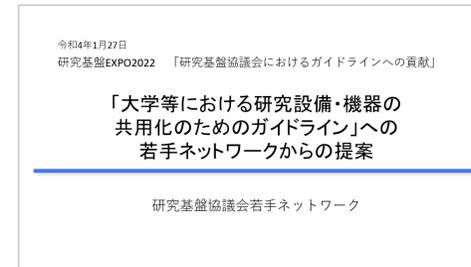
若手ネットワークのこれまでの主な活動

- ・月1回程度の意見交換等を通じた若手間の人脈形成
- ・「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」への若手からの意見出し
- ・研究基盤EXPO(2021,2022)若手企画



今後の予定

- ・月1回程度の意見交換等を通じた若手間の人脈形成
- 「お互いの仕事を知る」第2弾
- 若手ネットワーク版人材データベースの作成



おわりに

- 若手ネットワークの活動にご興味のある方はおられませんか？

条件：我こそは若手である！と自負している方

(勤務年数は10年未満が望ましい)

活動内容：

- ・月1回程度開催する定例会への参加を含めた、若手間での人脈構築。
(・若手ならではの視点から研究基盤政策を取り巻く諸課題へ意見出し)

- 問い合わせ先

下記連絡先までお願いいたします。

研究基盤協議会若手ネットワーク代表 横野

(Googleform：<https://forms.gle/MgrNqsVopfUnB4Lt9>)

研究基盤に関わるのは
技術職員・URAだけ
じゃない！

もっと多彩なメンバー
で議論したい！





TAMARIBA

研究基盤協議会
技術職員コンソーシアム紹介

技術職員コンソーシアム (TAMARIBA) について

人材育成プラットフォーム

技術の尺度って？

趣旨

研究基盤に関わる大学技術職員（個人もしくは団体）が集い、参加者間の連携と協力により、各機関における技術職員のマネジメントの在り方（職階・キャリアパス・評価・給与体系等）や経営・研究戦略における技術職員の役割の明確化に資する調査・検証や広報・企画実施を行うとともに、研究基盤の戦略的活用と共用の推進に貢献し、もって、各所属機関におけるビジョンや理念の実現に寄与することを目的として活動します。

技術の共有・・・

コンソーシアム(TAMARIBA)参加対象者

研究基盤協議会技術職員コンソーシアムの活動趣旨に賛同する大学機関等所属の技術職員
(電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学等 各分野の個人もしくは団体)

労働制度

参加者の活動

保有していく必要がある技術とは？

- ・ 技術職員コンソーシアムから発信される各種情報の受信
- ・ 技術職員コンソーシアムにおける各種イベントへの参加・アンケート等への協力
- ・ TAMARIBA 企画側（コーディネーター）への参加（希望者）

技術職員のミッション

TAMARIBA

活動内容

- 2022/7/22 技術職員コンソーシアム講演会（キックオフシンポジウム）
 - 設立趣旨などを紹介
 - 参加者アンケートを実施
- 2022/8/28 研究・イノベーション学会 大学経営研究懇談会 活動紹介
- 2022/9/1-2 2022年度 機器・分析技術研究会 紹介動画提供
- 2022/10/28 ML運用開始
- 2022/11/8 ランチミーティング
 - キックオフシンポジウムで実施したアンケート結果の中から話題を抽出して現状などを議論した。その中でTAMARIBAイベントを決定



TAMARIBA イベント 「技術職員の魅力とは」

- 開催日：2023年3月15日（水） 13:30～15:00
- 開催形式：オンライン（Zoom）
- 参加範囲：一般公開
- 内容：

近年、企業から大学の技術職員になる方が増加傾向にあります。3月のTAMARIBA企画では、企業から大学という異なる環境に対応しつつ、やりがいを持って働いている技術職員の皆様をパネリストにお迎えします。大学職員になろうと思ったきっかけや、大学職員になって良かったこと・悪かったこと、現在の仕事のやりがいなどお話し頂きます。参加登録フォーム

- 参加登録フォーム：<https://forms.gle/5uSCfQE359VxbBGb8>

参加お待ちしております。



本日の登壇者

研究基盤協議会若手ネットワーク

ファシリテーター

- ・ 植原邦佳（大阪大学 技術職員）
- ・ 木戸拓実（熊本大学 URA）
- ・ 廣瀬孝三郎（琉球大学 技術職員）
- ・ 細見奈生（筑波大学 学生）

技術職員コンソーシアム

- ・ 安東真理子（東北大学 技術職員）
- ・ 杉山博則（金沢大学 技術職員）
- ・ 松本香（神戸大学 技術職員）

- ・ 白井俊行（内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局参事官（エビデンス担当））

- ・ 江端新吾（研究基盤協議会代表／東京工業大学教授）

Q1.e-CSTIによる最新の分析結果と教育研究系技術職員の調査結果について、得られたデータについて感じたことを教えてください

**Q2.研究基盤協議会法人化に対する期待と
10年後の理想の姿を教えてください**

まとめ

TAMARIBA イベント 「技術職員の魅力とは」

- 開催日：2023年3月15日（水） 13:30～15:00
- 開催形式：オンライン（Zoom）
- 参加範囲：一般公開
- 内容：

近年、企業から大学の技術職員になる方が増加傾向にあります。3月のTAMARIBA企画では、企業から大学という異なる環境に対応しつつ、やりがいを持って働いている技術職員の皆様をパネリストにお迎えします。大学職員になろうと思ったきっかけや、大学職員になって良かったこと・悪かったこと、現在の仕事のやりがいなどお話し頂きます。参加登録フォーム

- 参加登録フォーム：<https://forms.gle/5uSCfQE359VxbBGb8>

参加お待ちしております。

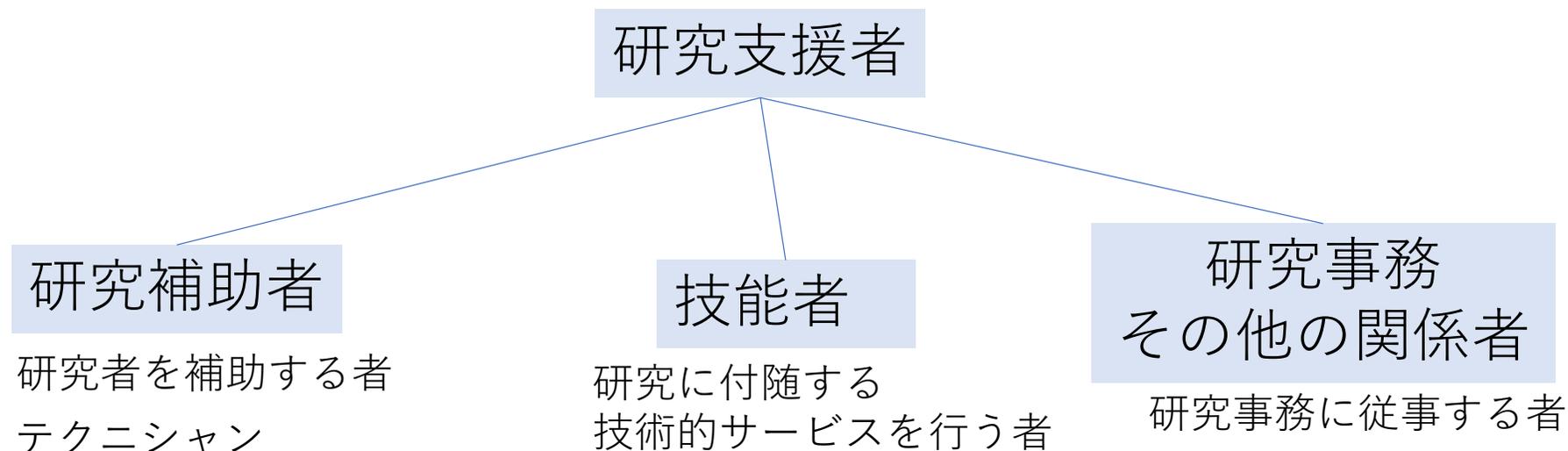


研究基盤協議会若手ネットワークお問い合わせ

若手ネットワーク・技術コンソーシアムへの質問については、
下記の研究基盤協議会若手ネットワークお問い合わせフォームに記載ください。

<https://forms.gle/MgrNqsVopfUnB4Lt9>

- 研究補助者・技能者は研究支援者に含まれる



※出典：文部科学省 科学技術・学術政策研究所
「科学技術指標2019」 調査資料-283 (2019年8月)

出典：「科学技術要覧（令和元年度版）」